

第66回日本小児神経学会近畿地方会プログラム

【日 時】 2019年10月5日（土）

＊近畿地方会 13時25分開始

＊総 会 16時40分～16時50分

＊特別講演 16時50分～17時50分

【テ ー マ】 小児神経疾患の病態から考える

【会 場】 大阪市立総合医療センター さくらホール

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

TEL：06-6929-1221

【会 長】 青天目 信

（大阪大学大学院医学系研究科 小児科学）

【特別講演】

「小児の中樞神経免疫性疾患」

吉良 龍太郎 先生

（福岡市立こども病院 小児神経科）

発表者の皆様へ

【受付・発表時間について】

1. 発表時間の30分前までに発表データをPC受付にご提出ください。
2. 発表6分、質疑4分です。発表時間を厳守してください。
3. 発表開始後6分でベルが1回、質疑終了後ベルが2回鳴ります。

【発表使用機材について】

1. 会場に発表用のパソコンをご用意しております。
2. 会場でご利用いただけるパソコンは下記の通りです。
※ Windows7/8、アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint 2010/2013
3. CD-R (CD-ROM)、USB メモリ持込みの注意点
 - 1) 動画がある場合にはCD-R等のメディアは使用できません。
必ずノートパソコンをお持込みください。
 - 2) CD-RおよびUSBメモリでお持込みの場合は下記の様式で保存してご用意ください。
※ Windows…MS PowerPoint 2010/2013
 - 3) Macintoshの場合には、必ずノートパソコンをお持込みください。
 - 4) フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。
日本語…MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
4. プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。
※事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。

【ノートパソコン持込みの注意点】

1. OSはWindows、Macintoshが使用できます。
※使用するアプリケーションはPowerPointのみとさせていただきます。
2. バックアップ用データとしてCD-R (CD-ROM) またはUSBメモリをご持参ください。
またパソコンのACアダプタは必ずご用意ください。
3. 会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はMiniD-sub15ピンです。
この形状に合ったパソコンをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でご持参ください。

4. スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは予め解除してください。

※発表データ受付時に確認させていただき、設定が解除されていない場合は設定を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

※パスワードの設定が解除されていない場合は、パスワードロック時にお呼び出しをする場合がございます。

第67回 日本小児神経学会近畿地方会 演題募集のお知らせ

拝啓 先生方には益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、第67回日本小児神経学会近畿地方会を下記の日程で開催いたします。一般演題を募集いたしますので、是非多くのご応募をお願いいたします。

敬具

2019年10月

第67回会長 榊原 崇文
運営委員長 鈴木 保宏

地方会概要

【期 日】 2020年3月7日(土) 午後(予定)

【テ ー マ】 小児神経疾患の症候をとらえる

【会 場】 大阪市立総合医療センター さくらホール

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

・JR 大阪環状線「桜ノ宮」駅下車(東口2 北東へ約7分)

・地下鉄谷町線「都島」駅下車(2番出口 西へ約3分)

【会 長】 榊原 崇文(奈良県立医科大学小児科)

【特別講演】 「楽しく学ぶ基底核回路と不随意運動」

熊田 聡子 先生(東京都立神経病院 神経小児科)

演題募集のお知らせ

- ①単 位：発表筆頭者 3単位、連名者 1単位、参加者 5単位（日本小児神経学会専門医制度）また特別講演参加者1単位（日本小児科学会 新更新単位 iii 小児科領域講習）を算定予定です。
- ②募 集：一般演題
- ③応募資格：筆頭演者は本地方会会員であること
- ④応募方法：日本小児神経学会本会ホームページ「近畿地方会」ページより演題を登録してください。
- ⑤登録内容
 - ・演題名は、全角 50 文字（半角 100 文字）以内になります。
 - ・抄録本文は「はじめに」「症例」「考察」「結論」が判るよう、全角 850 字以内で作成してください。
 - ・症例報告の場合には生年月日や受診年月日などの日付は個人の特定につながる情報となるため記載しないようお願いいたします。
 - ・文字化けやレイアウトが崩れることがありますので、確認のため PDF ファイルを作成の上、アップロードしていただくをお願いいたします。
 - ・1 週間以内に抄録登録の返信をいたします。登録の返信がない場合は下記へお問い合わせください。

演題応募期間：2019年12月16日（月）～2020年1月14日（火）

演題応募もしくはご入会のお手続き等に関するご質問、その他不明な点がございました場合は下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

<演題応募、ご入会等のお問い合わせ先>

日本小児神経学会近畿地方会学会事務局

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8

MPR 本町ビル 9 階

株式会社 JTB 西日本 MICE 事業部

Tel：06-6252-5051 Fax：06-7657-8412

営業時間：9：30～17：30（土・日・祝祭日は休業）

E-mail：kjscn@jtb.com

プログラム

開会 13:25 会長 青天目 信

遺伝子

座長 橘 雅弥 (大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合 小児発達学研究所)

13:30-14:10

1. GATAD2B 遺伝子に新規の機能欠失変異を認めた重度知的障害とてんかんを有する一例

○堀田純子¹、匹田典克¹、佐久間悟¹、神原雪子³、濱崎考史¹、瀬戸俊之^{1,2}

1. 大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学
2. 大阪市立大学大学院医学研究科 臨床遺伝学
3. ゆきこどもクリニック

2. 小児四肢疼痛発作症 4 家系の遺伝学的検討

○吉田健司¹、矢野直子¹、横山淳史¹、林 貴大¹、高折 徹¹、舞鶴賀奈子¹、滝田順子¹、加畑理咲子²、奥田裕子²、原田浩二²、小泉昭夫²

1. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学
2. 京都大学大学院医学研究科 環境衛生学

3. TUBA1A 変異をみとめた滑脳症の 1 例

○島川修一、北原 光、利川寛実、福井美保、芦田 明
大阪医科大学附属病院 小児科

4. 原因不明の脳性麻痺で AARS 遺伝子異常を認めた 1 例

○森 篤志¹、野崎章仁¹、柴田 実¹、井上賢治¹、佐々木彩恵子¹、森未央子¹、石原万里子¹、藤井達哉¹、武内俊樹²、上原朋子²、小崎健次郎²

1. 滋賀県立小児保健医療センター
2. 慶応義塾大学医学部 臨床遺伝学センター

5. ノロウイルス感染に伴い急性脳症から心肺停止に至った1例

○魚谷周平¹、津田祐子²、南 弘一²、鈴木啓之²、大元浩明³、長谷朋香³、小森有紀³、青柳憲幸³

1. 新宮市立医療センター
2. 和歌山県立医科大学
3. 和歌山ろうさい病院

6. 視神経網膜炎を合併したリンパ節腫脹の乏しい猫ひっかき病の1例

○吉川侑子¹、榊原崇文¹、大西智子¹、武山雅博¹、後岡克典²、西 智²、常岡英弘³、高橋利幸⁴、嶋 緑倫¹

1. 奈良県立医科大学 小児科
2. 奈良県立医科大学 眼科
3. 山口大学医学部 保健学科
4. 東北大学医学部 神経内科学教室

7. けいれん重積型（二相性）急性脳症の既往があり、4歳時に出血性ショック脳症症候群を発症したDravet症候群の1例

○永瀬静香¹、川脇 壽¹、山本直寛¹、井上岳司¹、温井めぐみ¹、九鬼一郎¹、岡崎 伸¹、宇城敦司²、石川順一³、林下浩士³、加藤正吾⁴、村上貴孝⁴

1. 大阪市立総合医療センター 小児神経内科・小児青年てんかん診療センター
2. 大阪市立総合医療センター 小児集中治療部
3. 大阪市立総合医療センター 救命救急部
4. 中野こども病院 小児科

8. けいれんのエピソードが明らかでなかった前頭葉を主として障害する乳幼児急性脳症の5歳6か月の男児例

○山崎苗穂子¹、柏木 充¹、田邊卓也²、荻野元子¹、野村昇平¹、芦田 明³

1. 市立ひらかた病院 小児科
2. 田辺こどもクリニック 小児神経内科
3. 大阪医科大学 小児科

—14:50-15:00 休憩—

9. 突然の右片麻痺で発症し、発症4日目からけいれん群発を認めた1例

○石田悠介、山口 宏、坊 亮輔、富岡和美、西山将広、栗野宏之、竹田洋樹、永瀬裕朗
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野

10. 真性唾液分泌過剰症を併発した脳腫瘍の11歳男児例

○小林健一郎¹、濱端隆行^{1,2}、毎原敏郎¹、宇佐美郁哉^{1,2}、平家俊男¹

1. 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科
2. 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児血液・腫瘍内科

11. Sturge-Weber 症候群における脳卒中様発作時の arterial spin labeling (ASL) による脳灌流評価の有用性

○中島 健、水谷聡志、平野翔堂、大星大観、木水友一、池田 妙、最上友紀子、柳原恵子、鈴木保宏

大阪母子医療センター 小児神経科

12. 抗MOG抗体陽性 tumefactive CIS の一症例

○島 盛雅¹、青天目信^{1,2}、中井理恵^{1,2}、栞山良子^{1,2}、谷河純平^{1,2}、岩谷祥子^{1,2,3}、富永康仁^{1,2,3}、下野九理子^{1,2,3}、大藪恵一^{1,2}

1. 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学
2. 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター
3. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科

座長 戸澤 雄紀 (京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学)

15:40-16:20

13. 偶発的に認めた頭蓋骨腫瘤性病変から McCune-Albright 症候群を疑った 12 歳男児例

○土肥周平¹、宇津木玲奈¹、大西 聡²、石森真吾²、起塚 庸²、伊倉義弘³、玉置知子⁴、原田敦子^{1,4}

1. 愛仁会高槻病院 小児脳神経外科
2. 愛仁会高槻病院 小児科
3. 愛仁会高槻病院 病理診断科
4. 愛仁会高槻病院 遺伝医療部門

14. 遊走性焦点性発作とてんかん性スパズムが同一発作中に認められた一例

○甲良謙伍、加藤竹雄、井手見名子、毎原敏郎
兵庫県立尼崎総合医療センター 小児脳神経内科

15. いとこを発端者とし、家系内遺伝学的検索により判明した 20 歳の副腎白質ジストロフィーの 1 例

○一瀬栄佑、千代信友裕、阪上智俊、高井あかり、戸澤雄紀、森本昌史
京都府立医科大学附属病院 小児科

—16:20-16:30 休憩—

—16:30-16:40 総会—

特別講演 座長 青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

16:40-17:50

「小児の中樞神経免疫性疾患」

福岡市立こども病院 小児神経科 吉良 龍太郎 先生